

厚木児童思春期精神保健講座一覧表

< 本 講 座 >

プレセミナー 平成7年7月4日
事例検討の体験・ネットワーク活動の意義
講師 山崎晃資（東海大学医学部教授）

第1回 本講座 平成7年8月25～26日
児童思春期の諸問題 <その対応と連携のあり方>
全体レクチャー
思春期臨床診断の進め方
講師 猪股丈二（東海大学医学部非常勤教授）
公開レクチャー
不登校 <家族への援助を考える>
講師 平木典子（日本女子大学人間社会学部教授）
ケースカンファレンス・全体ケースカンファレンス
コメンテーター
山崎晃資（東海大学医学部教授）
猪股丈二（東海大学医学部非常勤教授）
平木典子（日本女子大学人間社会学部教授）
公開シンポジウム
児童思春期関係機関の役割と連携のための課題 <不登校をめぐる>
司会 竹内知夫（愛光病院理事長・神奈川県精神病院協会副会長）
霜島俊彦（厚木市立南毛利小学校長）
パネリスト
佐藤照明（厚木市立林中学校生徒指導主任）
瀧本かな子（厚木市青少年教育相談センター主幹）
辻 隆造（神奈川県厚木児童相談所心理判定員）
飯島昌江（神奈川県厚木保健所ケースワーカー）
塩塚瑛子（塩塚小児科医院長・厚木市医師会理事）

第2回 本講座 平成8年8月24日
児童思春期の諸問題 ——家族援助の進め方——
全体レクチャー
児童思春期事例の理解
講師 加藤由起子（愛光病院思春期病棟医長）
公開フォーラム
家族の療育機能と援助の進め方
講師 岡堂哲雄（文教大学人間科学部教授）
ケースカンファレンス
コメンテーター
加藤由起子（愛光病院思春期病棟医長）
岡堂哲雄（文教大学人間科学部教授）
佐藤喜一郎（北里大学医学部助教授）

第3回 本講座 平成9年8月30日

児童思春期の諸問題 ——援助活動の進め方・不安定から安定へ——

全体レクチャー

児童思春期事例の理解とかかわり

講師 佐藤喜一郎（北里大学医学部助教授）

公開フォーラム

援助活動の進め方と連携

講師 山崎晃資（東海大学医学部教授）

ケースカンファレンス

スーパーヴァイザー

山崎晃資（東海大学医学部教授）

佐藤喜一郎（北里大学医学部助教授）

林 雅次（東海大学医学部助教授）

辻 隆造（神奈川県小田原児童相談所心理判定員）

第4回 本講座 平成10年8月22日

児童思春期の諸問題 ——児童思春期の理解・こころとかかわり——

全体レクチャー

思春期・青年期の心理

講師 岸 良範（埼玉医科大学短期大学助教授）

公開フォーラム

現代少年の心と行動 ——今、少年たちの心に何が起こっているのか——

講師 伊藤由紀夫（横浜家庭裁判所家庭裁判所調査官）

ケースカンファレンス

スーパーヴァイザー

岸 良範（埼玉医科大学短期大学助教授）

加藤由紀子（愛光病院思春期病棟医長）

土屋明美（相州病院臨床心理士）

第5回 本講座 平成11年8月22日

児童思春期の諸問題

——思春期の心理・その変化と対応＜思春期の子供にどう接するか——

全体レクチャー

子どものメンタルヘルスにかかわる専門家としての姿勢

＜学校・地域・親とのかかわり＞

講師 山崎晃資（東海大学医学部教授）

公開フォーラム

思春期の子どもにどう接するか

講師 河合隼雄（国際日本文化研究センター所長・京都大学名誉教授）

ケースカンファレンス

スーパーヴァイザー

山崎晃資（東海大学医学部教授）

加藤由紀子（愛光病院思春期病棟医長）

小野真理子（東京家政学院大学講師）

第6回 本講座 平成12年8月26日

児童思春期の諸問題 ——こどものこころ・問題行動と精神症状——

全体レクチャー

問題行動と精神症状のとらえ方

講師 竹内知夫（愛光病院院長・当委員会実行委員長）

公開フォーラム

こどものこころを考える

講師 田野稔郎（こども医療センター精神療育部長）

ケースカンファレンス

スーパーヴァイザー

芳川玲子（横浜国立大学大学院助教授）

加藤由紀子（愛光病院思春期病棟医長）

朝倉 新（東海大学医学部精神科助手）

第7回 本講座 平成13年8月18日

児童思春期の諸問題 ——最近の若者にみる行動・その理解と対応——

全体レクチャー

児童精神科における診断と治療

講師 松本英夫（東海大学医学部精神科学教室助教授）

公開フォーラム

最近の若者にみる行動障害

講師 牛島定信（東京慈恵会医科大学精神医学講座教授）

ケースカンファレンス

スーパーヴァイザー

小野真理子（東京家政学院大学講師）

加藤由紀子（愛光病院思春期病棟診療部長）

朝倉 新（愛光病院思春期病棟医長）

第8回 本講座 平成14年8月10日

児童思春期の諸問題 ——こころのケアとネットワークづくり——

全体レクチャー

児童精神科における診断と治療パートⅡ

講師 松本英夫（東海大学医学部精神科学教室助教授）

公開フォーラム

こころのケアとネットワークづくり

講師 松田文雄（広島県・松田病院長）

ケースカンファレンス

スーパーヴァイザー

松田文雄（広島県・松田病院長）

松本英夫（東海大学医学部精神科学教室助教授）

加藤由紀子（愛光病院思春期病棟診療部長）

第9回 本講座 平成15年8月23日

児童思春期の諸問題 ——青年に引きこもりのケースの理解と援助——

全体レクチャー

軽度発達障害の理解と指導 <特別支援教育をめぐる問題>

講師 山崎晃資（東海大学教育研究所教授・東海大学附属相模中学校・
高等学校長）

公開フォーラム

青年期ひきこもりケースの理解と援助

講師 近藤直司（山梨県立精神保健福祉センター所長）

ケースカンファレンス

スーパーヴァイザー

近藤直司（山梨県立精神保健福祉センター所長）

松本英夫（東海大学医学部精神科助教授）

土屋明美（相州病院臨床心理士）

第10回 本講座 平成16年8月21日

児童思春期の諸問題

記念講演

母子支援を通して思春期問題を考える ——世代間伝達——

渡辺久子（慶応義塾大学附属病院小児科）

児童期思春期の心を考える

尾木直樹（教育評論家）

記念コンサート

国立音楽大学どじょっこ合唱団

第11回 本講座 平成17年8月27日

児童思春期の諸問題

全体レクチャー（パネルディスカッション）

子どもたちの心へのかかわりと課題

座長 塩塚瑛子（塩塚小児科医院長・当委員会委員）

瀧本かな子（厚木市立北小学校長・当委員会委員）

パネラー

元山由美（中学校養護教諭）

池端幸洋（児童福祉司）

中尾圭樹（スクールカウンセラー）

西谷晴美（少年相談員）

大屋彰利（児童精神科医）

公開フォーラム

子どものうつ病 ——その心に何が起きているのか——

講師 傳田健三（北海道大学医学部助教授）

第12回 本講座 平成18年8月26日

児童思春期の諸問題

全体レクチャー（パネルディスカッション）

連携と協働のあり方を探る ——架空のケース事例をとおして——

座長 塩塚瑛子（塩塚小児科医院長・当委員会委員）

事例提案

杉山次郎（児童相談所判定養護課長）

パネラー

永松由次（中学校生徒指導担当）

今井真理子（中学校養護教諭）

煙石洋一（児童精神科医師）

羽原孝子（保健福祉事務所ケースワーカー）

菊池亮子（少年相談員）

中田和之（児童相談所指導課長）

アドバイザー

草光純二（鎌倉女子短期大学部教授）

公開フォーラム

発達障害・虐待・性 ——子どもの問題に親はどう関わるか——

講師 山崎晃資（目白大学教授）

第13回 本講座 平成19年8月25日

児童思春期の諸問題

全体レクチャー（パネルディスカッション）

機関連携による問題解決のあり方を探る

——保護者の精神疾患が疑われる事例——（架空事例）

座長 竹内知夫（愛光病院院長・当委員会委員長）

パネラー

成田 温（三田小学校 総括教諭）

杉山次郎（児童相談所 判定養護課長）

本郷誠司（愛光病院 精神科診療部長）

石橋優子（厚木市児童福祉課 児童虐待・DV 担当課長）

公開フォーラム

小中学生の問題行動 ——子どもの問題に親はどう関わるか——

講師 大島龍穂（元刑事・僧侶）

第14回 本講座 平成20年8月23日

児童思春期の諸問題

全体レクチャー

自傷行為をする子どもたちへの接し方

講師 松本俊彦（国立精神・神経センター精神保健研究所
自殺予防総合対策センター自殺実態分析室長）

公開フォーラム

インターネット依存症を考える

講師 松本俊彦（国立精神・神経センター精神保健研究所
自殺予防総合対策センター自殺実態分析室長）

第15回 本講座 平成21年8月22日

記念講演

歓ぶことと悲しむこと

講師 五木寛之（作家）

第16回 本講座 平成22年8月21日

公開フォーラム

ティーンからのメッセージ

講師 家田荘子（作家）

第17回 本講座 平成23年8月20日

公開フォーラム

性同一性障害をどう理解し、対応するか

講師 山内俊雄（埼玉医科大学 名誉学長）

第18回 本講座 平成24年8月18日

公開フォーラム

すべての子どもたちに、今こそ必要な教育とは何か？

講師 品川裕香（教育ジャーナリスト）

第19回 本講座 平成25年8月10日

公開フォーラム

地域療育センターからみた最近の子どもたち

講師 大屋彰利（横浜市東部地域療育センター 所長）

第20回 本講座 平成26年8月9日

公開フォーラム

子どもの心の診療における家族支援——家族がすべきこと・できる事——

講師 齊藤万比古（母子愛育会総合母子保健センター愛育病院

小児精神保健科部長）

第21回 本講座 平成27年8月8日

公開フォーラム

児童精神科医 50 年から見えてきたもの

——医療・教育・福祉の現場を通して——

講師 山崎晃資（一般財団法人日本自閉症協会会長・愛光病院顧問）

第22回 本講座 平成28年8月20日

公開フォーラム

「睡眠不足症候群」をご存知ですか？

講師 神山 潤（東京ベイ・浦安市川医療センター 管理者）

第23回 本講座 平成29年8月19日

公開フォーラム

ネット・スマホの過剰使用の心・体への影響とその対応

講師 樋口 進（独立医療法人国立病院機構 久里浜医療センター院長）

第24回 本講座 平成30年8月18日

公開フォーラム

子どものこころの発達を支える ——相互関係、『共有』の中で——

講師 中野 三津子（愛光病院 児童精神科医）

第25回 本講座 令和元年8月17日

公開フォーラム

こころに悩みをもつ人たち ——子どもと親の関係——

講師 小倉 清（クリニックおぐら 院長）

第26回 本講座 令和4年10月20日

公開フォーラム

不登校の昔と今

講師 山登 敬之（明治大学子どもこころクリニック院長、
明治大学文学部心理社会学科 特任教授）

第27回 本講座 令和5年9月2日

公開フォーラム

いのちを守る性教育 ——自分らしく生きるために——

講師 高橋 幸子（埼玉医科大学医療人育成支援センター
地域医学推進センター
産婦人科・医学教育センター 助教）

第28回 本講座 令和6年8月24日

公開フォーラム

子どもの発達障がいの理解について ——周囲の大人の対応——

講師 大屋 彰利（こども発達クリニックほうあんなぎさ 院長）

<ミニ・ワークショップ>

第1回 平成7年11月28日

家族の療育機能と援助のすすめ方

野間和子（野間メンタルクリニック院長）

第2回 平成8年6月14日

家族カウンセリングのすすめ方

平木典子（日本女子大学人間社会学部教授）

第3回 平成8年11月25日

神経性不食欲症 ―思春期拒食症について―

佐藤喜一郎（北里大学医学部助教授）

第4回 平成9年5月13日

子供の理解 ―診断と援助―

山崎晃資（東海大学医学部教授）

第5回 平成9年11月28日

小さなクリニックから見た子供たちの今

安藤 公（メンタルクリニックあんど院長）

第6回 平成10年5月15日

浦舟病院の小児精神科でのかかわり

一どのような患者を診て、どうかかわっているのか―

飯塚幸子（横浜市立大学医学部助教授）

第7回 平成10年11月9日

最近の小児・思春期問題・こども達を取り巻く諸問題

―民間病院における思春期病院の試み―

加藤由紀子（愛光病院思春期病棟医長）

第8回 平成11年5月17日

子供の出すサインを読み取る必要性

―非行として出すサインよりもこどもの内的なサインについて―

岸 良範（埼玉医科大学短期大学助教授）

第9回 平成11年11月22日

ヘルプ ―被害少年支援の軌跡―

樋渡弥子（神奈川県警察少年相談・保護センター少年相談員）

第10回 平成12年5月22日

思春期の性とエイズ

岩室紳也（厚木保健福祉事務所保健予防課長）

第 11 回 平成 12 年 11 月 27 日

現代中学生事情

小林茂直（厚木市中学校教諭）

小田中正格（厚木市中学校教諭）

佐藤一雄（厚木市中学校教諭）

第 12 回 平成 13 年 5 月 21 日

私たちはこんな活動をしています（保健福祉事務所 児童相談所 病院）

佐藤しげ子（厚木保健福祉事務所）

土橋俊彦（厚木児童相談所）

島田育男（愛光病院）

加藤恵子（愛光病院）

第 13 回 平成 13 年 11 月 29 日

思春期の心を支えるネットワーク ―学校医の役割と養護教諭との連携―

馬嶋順子（学校医・馬嶋医院長）

品川禮子（小学校養護教諭）

元山由美（中学校養護教諭）

第 14 回 平成 14 年 5 月 20 日

思春期の心を支えるネットワーク ―学校医の役割と養護教諭との連携―

青木 豊（相州メンタルクリニック院長）

木村克己（厚木市教育委員会青少年教育相談センター）

第 15 回 平成 14 年 11 月 28 日

こどもの虐待への早期対応と親への支援

田中 楢（北小田原病院副院長）

第 16 回 平成 15 年 5 月 19 日

問題を抱えた子ども達・その親へのかかわり方

山崎晃資（東海大学教育研究所教授・東海大学付属相模中学校・高等学校長）

第 17 回 平成 15 年 11 月 27 日

発達障害：かかわり方と親へのアドバイス方法

松本英夫（東海大学医学部精神科助教授）

第 18 回 平成 16 年 5 月 31 日

かたりべ ―子どもたち・親たちをみていて―

塩塚瑛子（塩塚小児科医院長・当委員会委員）

第 19 回 平成 16 年 11 月 16 日

不登校などの問題を抱える子どもと親へのアプローチのしかた

大屋彰利（東海大学医学部精神神経科助手）

第20回 平成17年5月30日

反社会的行動と自殺

外川江美（八王子少年鑑別所 心理技官）

三上克央（東海大学医学部精神神経科教室）

第21回 平成17年11月28日

人格障害についての理解

渥美真理子（愛光病院診療部長）

第22回 平成18年5月29日

特別支援教育に求められるもの

山崎晃資（目白大学教授）

高橋秀成（厚木市立森の里中学校教諭）

支援教育担当（厚木市立北小学校）

第23回 平成18年11月27日

ストレス・うつを避けるために

竹内知夫（愛光病院院長 当委員会委員長）

第24回 平成19年5月28日

小中学生の薬物乱用を考えて 「その後に及ぼす」影響－

松本俊彦（国立精神神経センター精神保健研究所 自殺予防総合対策センター

精神保健計画部 自殺実態分析室長）

第25回 平成19年11月26日

人格障害について

舘 哲朗（東海大学健康科学部教授）

第26回 平成20年6月5日

小中学生の暴力行為の背景を考える

近藤直司（山梨県立精神保健福祉センター所長 山梨県中央児童相談所副所長）

第27回 平成20年11月27日

不登校の背景を考える 「アセスメントとプランニングの進め方」－

近藤直司（山梨県立精神保健福祉センター所長 山梨県中央児童相談所副所長）

第28回 平成21年6月11日

AD/HD の最新の治療法について 「AD/HD バーチャル体験」－

松本英夫（東海大学医学部精神科学教室教授）

第29回 平成21年11月19日

AD/HD の最新の治療法について パートⅡ 「AD/HD バーチャル体験」－

松本英夫（東海大学医学部精神科学教室教授）

第30回 平成22年6月10日

教員のメンタルヘルス

松本俊彦（国立精神・神経センター精神保健研究所 自殺予防総合対策センター
精神保健計画部自殺実態分析室長
併任 薬物依存研究部診断治療開発研究室長）

第31回 平成22年11月18日

思春期ネットワークの日常的な連携について

佐藤弘幸（厚木市教育委員会青少年教育相談センター指導主事）
大矢瑞穂（愛光病院地域連携支援部心理科科長）

第32回 平成23年6月10日

認知行動療法の実践 ―子どもとの交流の手助けのために―

大野 裕（慶応大学保健管理センター 教授）

第33回 平成23年11月17日

思春期ネットワークの日常的な連携にむけて

―児童相談所、保健福祉事務所から見た厚木の子どもたち―

小糸英明（神奈川県厚木児童相談所養護課課長）
羽原孝子（神奈川県厚木保健福祉事務所保健予防課 専門福祉士）

第34回 平成24年6月15日

発達障がいの人々のライフステージにおける課題

山崎晃資（臨床児童精神医学研究所長）
世田谷区発達障害相談・療育センター診療所長）

第35回 平成24年11月22日

発達障がいの人々のライフステージにおける課題（2）

山崎晃資（臨床児童精神医学研究所長）
世田谷区発達障害相談・療育センター診療所長）

第36回 平成25年6月14日

厚木児童思春期精神保健ネットワーク（経緯説明）

厚木の支援連携機関は学校にどう関われるか

大高正光（愛光病院メンタルヘルス事業部長）
佐藤弘幸（厚木市教育委員会青少年教育相談センター指導主事）
杉田由記子（神奈川県厚木児童相談所児童福祉司）
三宅正敬（三宅眼科医院長・厚木医師会学校医部会担当理事）
木佐森朝野（愛光病院地域連携支援部相談科長）
大竹三千代（神奈川県厚木保健福祉事務所保健予防課専門福祉司）

第37回 平成25年11月19日

ゲーム・インターネットのコントロール喪失とその支援

―こどもの動機を引き出すには―

青山久美（横浜市立大学附属病院児童精神科助教）

- 第38回 平成26年6月13日**
学校と家庭、地域で連携して考える『学び』と『育ち』
石川結貴（作家）
- 第39回 平成26年11月21日**
児童精神科における外来・入院治療 ―発達障害を中心に―
赤間史明（愛光病院児童精神科医）
- 第40回 平成27年6月12日**
危険ドラッグ乱用問題と薬物乱用防止教育に求められるもの
松本俊彦（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
薬物依存研究部 部長／自殺予防総合対策センター 副センター長）
- 第41回 平成27年11月20日**
先生たちが今できること ―子どもの対応と親対応、その後の連携―
桑原 寛（前神奈川県精神保健福祉センター所長）
- 第42回 平成28年6月10日**
自分を傷つけずにはいられない ―自傷行為の理解と対応―
松本俊彦（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
薬物依存研究部 部長／自殺予防総合対策センター 副センター長）
- 第43回 平成28年11月18日**
怠け者と呼ばないで ―起立性調節障害の対応の仕方―
呉 宗憲（東京医科大学助教）
- 第44回 平成29年6月9日**
今日からできること ―LGBTを含めた全ての子どもたちのために―
かなこ・たかゆき・もも（ReBit：リビットの方々）
- 第45回 平成29年11月17日**
現在の学校不適應の背景を考える
都丸文子（医療法人社団 希志会 発達診療クリニック院長）
- 第46回 平成30年6月8日**
いまさら人に聞けない“自殺問題の本質と自殺に傾く人の理解”
河西千秋（札幌医科大学医学部神経精神医学講座 主任教授）
- 第47回 平成30年11月16日**
虐待傾向のある親・家族の心理社会的特徴：その理解と対応
西澤 哲（山梨県立大学 人間福祉学部 教授）
- 第48回 令和元年6月7日**
子ども虐待をめぐる心理―虐待する親と虐待された子ども―
西澤 哲（山梨県立大学 人間福祉学部 教授）

第49回 令和元年11月15日

ネット依存の現状と対策

中山秀紀（独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター 精神科医長）

第50回 令和4年6月9日

最近の発達障害の診断基準

三上克央（東海大学精神科学准教授）

第51回 令和6年1月31日

自傷行為へのケアについて 一周囲の大人ができることー

松本俊彦（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
薬物依存研究部 部長／薬物依存症センター センター長）

第52回 令和7年2月1日

リスクを抱える家庭とつながり、支援するための手立て

田中哲（社会福祉法人 子どもの虐待防止センター 理事
子どもと家族のメンタルクリニックやまねこ院長）